

会議録

◇詳細― 教育部庶務課文化財グループ 電話 03-3981-1190

附属機関又は 会議体の名称		令和6年度 豊島区文化財保護審議会（第2回）
事務局（担当 課）		教育部庶務課
開催日時		令和7年2月21日（金） 午前10時～
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	菊池 徹夫（会長・早稲田大学名誉教授） 大石 学（東京学芸大学教育学部名誉教授） 加藤 律子（日本刺繍作家） 古泉 弘（特定非営利活動法人としま遺跡調査会理事長） 小沢 朝江（東海大学教授） 長佐古 美奈子（学習院大学史料館学芸員） 松本 洋幸（大正大学教授）
	事務局	教育長 庶務課長 庶務課文化財グループ係長、庶務課文化財グループ学芸員、 庶務課文化財グループ主事、庶務課文化財グループ文化財保護専門員
公開の可否		公開
会議次第		（1）豊島区文化財の登録について 【候補物件1】有形文化財（考古資料） 旧感応寺境内遺跡（新日本製鐵マンション地区）出土遺物 1件 【候補物件2】有形文化財 染井遺跡（STハイム地区）出土遺物 1件 （2）報告事項
○事務局		～ 開会あいさつ ～ それではお時間となりましたので、ただいまより令和6年度第2回豊島区文化財保護審議会を開催させていただきます。ここからは、会長に進行をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。
○会長		ではこれから議事に入ります。 次第の2-1、豊島区文化財の登録について事務局から説明をいただきます。

○事務局	前回議論いただいた資料をもとに若干修正を加えましたものをご用意いたしましたので、読み上げさせていただきます。染井遺跡（ST ハイム地区）出土遺物 1 件についてご説明を申し上げます。 ～ 事務局より候補物件 2 について説明 ～
○会長	いかがでしょうか？それでは、口火の意味で私から。 防空壕と考えられる室などが発見された、とありますが、これだと防空壕と考えられる穴となりますが、室ではなく防空壕、これでよいでしょうか。
○事務局	単なる地下室などの室ではなくて、防空壕という目的を持って作られたものであると判断しています。
○委員	次のページの上から 6 行目。遺構の形としての説明だと思います。堅穴とか横穴とかにしたらいかがですか。
○事務局	報告書を熟読したところ、室ですが階段がついています。
○委員	考古学的な用語としては堅穴の場合、一番わかりやすいのではないのでしょうか。あるいは階段付の建物。
○委員	防空壕の中に太平洋戦争で被災された遺物もあるという話だったので、昭和にもかかってきます。
○会長	そういうことでよろしいでしょうか。 そうしたら「スス」、これカナでよろしいでしょうか。今までどういふうに表記していましたか。
○委員	表現の問題で漢字がわかりやすいと思います。
○委員	礫のことですが、元のものとは壊れたものに礫という同じ言葉を使っているの、わかりにくかったと思います。出土遺物の多数を占めるのは、小さく砕けた礫とか書いた方がいいかもしれません。あるいは礫およびその破片。ほかにはいかがでしょうか。
○会長	コバルト染付、あえてコバルトを入れないと意味が通らないですか。

○委員	人工コバルトと書いていただければ、わかりやすいと思います。
○委員	室の部分を階段付き堅穴などといった表現に改めるのがよいというご指摘。礫が小さく破碎されたものであると冒頭に示して理解をしやすいとする。
○事務局	「スス」が、カタカナより漢字の方が良いということですね。それから最後、人工コバルトの部分を丁寧に書き込むことと時代の最後、昭和初期まで言及する、それらの点を修正してまいります。
○会長	それでは、また事務局から豊島区文化財の登録について説明いただきます。
○事務局	第1回でご指摘いただいた点を修正させていただきました。本文に入ります。 ～ 事務局より候補物件1について説明 ～
○会長	ありがとうございました。それでは、いかがでしょうか？
○委員	形式的な問題でルビを振られていますが、今回一緒に答申する同じ年度の同じような考古の答申にはルビはないので、整理していただくと良いと思いました。
○委員	1 ページ目の最後です。三宝院（醍醐寺）でもいいですが、三宝院と醍醐寺は全く同一のものではないので、醍醐寺の本坊的な、醍醐寺の本坊であった、三宝院を本陣とする、とした方が、それと京都市というのは明治以後の行政区画だから、ここでは京都、あるいは京都山科と書かれた方がいいかと思います。
○委員	2 ページ目、上から6行目、7行目、8行目にかけてのところですが。宅地化は武蔵野鉄道も大きいと思うのですが、関東大震災、それから昭和7年の東京市との合が大きいと思います。もし変えるとすると、まず大正4年の最初の鉄道開通、それから大正12年の関東大震災、さらに昭和7年の市域の変遷、などが大きな契機になっているとなります。
○委員	尾張徳川家に関しても、この頃、この時期ではなく昭和7年と入れた方が

○委員	よいと思います。 後ろから２つ目の段落ですが、「近年の土地利用は昭和初期まで」というのは言い過ぎで、大正初期ぐらいがよろしいのではないかと思います。
○委員	その段落の４行目ですが、近代後半というのは漠然としているので昭和初期に宅地化していく、当該地域の生活資料として位置づけられよう、がよいのではないかと思います。
○委員	２ページ目の２段落目の最後のところです。「尾張徳川家がこの地に居を構えたのもこの時期である」とありますが、尾張徳川家というのは江戸時代の名称であるかと思います。旧尾張藩主徳川家または侯爵尾張徳川家、侯爵である徳川家など近代の名称がいいと思います。 最後から２段目の段落の酸化コバルトは、先のもので統一された方がいいと思います。
○委員	遺構に対して「基」と使うのでしょうか。古墳のように盛り上がったものについて「基」を使用すると思います。
○委員	「大正時代を主体とする」は、中心とするなど難しくない言葉に直していただきたいと思います。
○委員	最初に１７世紀後葉と書かれていますが、先の染井遺跡のものだと後期とっているのでは、いかがでしょうか。
○事務局	こちらは改めさせていただきます。
○委員	１ページ目の４段落目で、「１１代将軍徳川家斉逝去の後」とありますが、逝去は敬語ですから、上下関係をつける必要がないのであれば、死去でよいかと思います。
○委員	２枚目の２番目、「近代の土地利用について低調」というのは、どのような意味でしょうか。
○事務局	地図で見たときに、あまり利用されていないという言い回しにしたかったという意図がありました。

○委員	なるべく簡潔にしようとして低調とされたと思うのですが、土地利用が少ないことをよくないことに捉えられてしまいそうです。
○事務局	ネガティブではない表現を使って修正したいと思います。
○会長	よろしいでしょうか？ それでは、本日ご指摘いただいた点についての修正後の確認は、会長一任とさせていただきます、いったん答申とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 (異議なし)
○会長	それではご異議無いようですので、教育委員会へ当委員会から答申させていただきます。 (会長より教育長へ答申書を手交)
○会長	続きまして、事務局から報告事項をお願いします。 (事務局より報告事項説明)
○会長	本日の審議は以上となりますが、事務局から連絡事項があればお願いします。 (事務局より連絡事項説明)
○会長	それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回豊島区文化財保護審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。